



第 100 号

あゆみ

NPO 法人ユーアイやちよ

276-0034 八千代市八千代台西 8-16-1

TEL047-482-4109 FAX047-482-4179

E-mail ui-yachiyo@mocha.ocn.ne.jp

<http://ui-yachiyo.sakura.ne.jp/>

利用者様アンケートのご報告

網 干 勝

今年度も 7～9 月にわたって、当法人のサービスを利用されている利用者様にアンケートを実施し、157 名の方から回答をいただくことが出来ました。みなさまのご協力に感謝申し上げます。

アンケートの集計結果は別表の通りです。

今回は、平成 5 年度から今年度までの 3 年間の結果について、推移を掲載しました。これまでと比較し、今年度は「どちらでもない」が減少し、「満足している」「概ね満足している」の合計が 98.7%となり、昨年の 95.8%より改善することができました。

サービスに対する評価	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度 (今年度)
回収枚数	191	165	157
満足している	152 (79.6%)	126 (76.4%)	124 (79.0%)
概ね満足している	34 (17.8%)	32 (19.4%)	31 (19.7%)
どちらでもない	5 (2.6%)	3 (1.8%)	0 (0%)
やや不満、不満	0 (0%)	1 (1.8%)	1 (0.6%)
未記入	0	3	1

【サービスに関するご指摘】(今回は 2 件だけでした。)

ご指摘いただいた内容	当法人の対応内容
* 時間が短い	訪問サービスの時間が短いとのことのご指摘でした。ご要望を良くお聞きし、対応させていただきます。
* 会報「あゆみ」ですが、目が良くないので、もう少し大きめの字で書いてくださればよいのですが…。	利用者様に配布する際は、文字サイズを少し大きめにするようにいたします。



【利用者様からいただいた応援のメッセージ】

訪問介護（ヘルパーサービス）・移送サービスの利用者様から

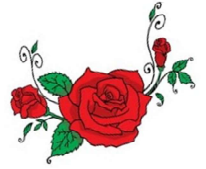
- * 一人暮らしの耳の聞こえない私が、脊柱管狭窄症で大変な時にも、時間になると必ず来てくれて、私の病状を理解し、きれいにお掃除をしてくれて助かっています。
最近、料理の人も入って、おいしいものを作ってくれているので、楽しみが増えました。
- * 今の時代、職員もヘルパーさんも減る一方だと聞いております。人数の少なくなっている今、大変だとは思いますが、とてもよく対応してくれています。
- * 限られた時間内に、ヘルパーさんは親切に利用者の要望を聞き、適切に対応してくださっています。大変感謝しております。

居宅介護支援（ケアプラン）の利用者様から

- * 利用者の気持ちを温かく受け入れていただき、早急な対応をしてくださること、アフターケアが行き届いていることなど、ユーアイにお世話になって幸せです。
- * 業務の遂行において問題が生じた場合に、的確に報告・相談している。サービス担当者会議においても、情報の共有化を図っている。
- * いつも相談しやすい対応でありがたく思っています。引き続き、何か困ることが起こっても、心強いサポート体制でいてくださるとありがたいです。
- * 自分の家に、極力人を入れたがらなかった利用者のわがままに対応しつつ、日常的に世話をする家族の願いにも寄り添ったプランを立ててくださり、本当に助かっています。

「あゆみ」100号達成！「あゆみ」の歩み

椎名美代子



会報「あゆみ」が、今回100号となりました。

「あゆみ」の第1号は、団体設立(1992年4月)前の1992年2月。「在宅ケアを考える会」としてのスタートでした。グループ活動をスタートするにあたり、千葉県社会福祉協議会に相談したところ、記録を残すことも大切なことだと教えていただき、会報を発行することにしました。

最初のころは、まだパソコンではなく、ワードプロセッサを使って編集していました。プリンターを持っていなかったため、借り物で対応したと記憶しています。

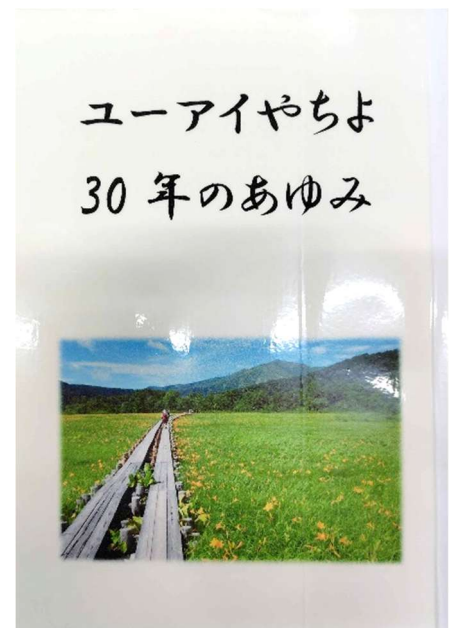
平成5年(第15号)からは、出口庸子さんの手書きのカットを表紙に挿入し、パソコンで編集するようになりました。平成13年にNPO法人となり、平成15年には現在の八千代台事務所に移転しました。

その間、「あゆみ」の編集者も何度か変わりました。パソコン操作が得意な石垣さんからは、「あゆみ」の編集を整えていただきました。平成18年の第45号から編集が網干さんとなり、カラー印刷となりました。

途中、会報の名前が子供の通知表みたいなので、「名前を変えては、どうか？」という意見が出ましたが、みなさんの意見で、そのままとなりました。第77号からは、現在の編集者である小林さんとなりました。

創立30周年の際には、池田さんが創刊号から90号までをまとめたとてもきれいで、重厚な復刻版を作成してくださりました。まさに「あゆみ」は当法人の記録。法人の歩みとなっています。100号まで継続したことはすごいことですね。

みなさまのおかげです！

「在宅ケアを考える会」のあゆみ 第1号
平成4年2月15日

皆さんに呼びかけて3ヶ月、今月で4回目の集まりになりました。
市の社会福祉協議会運営の住民参加型在宅福祉サービスについては、1月の学習会においての船橋市社協の藤代さんのお話で大体理解したのではないのでしょうか。皆さんはどのような感想をお持ちでしょうか。ほんのわずかながら住民自主組織のグループで協力会員として関わっている者としては幸運なところ、いろいろな違いを感じました。
どのような型がベストといえる訳ではなく、様々な型があって、要援護者(私たちも利用者になったとき)がそれらを上手に組み合わせ、各々の実情に合わせて利用できたら一番よいと思うのです。けれども今の八千代市には利用できる制度が限られたものしかありません。市社協の佐藤次長のお話からも、すぐにそのような制度ができるという事もないようです。しかし、今現在、すぐに手助けを必要とする人はいるのです。

私たち「在宅ケアを考える会」の会員は
○自分の身の回りのケアでいろいろ経験された方
○今、少しの時間ならば協力会員としてお手伝いできるという方
○現在、または近い将来、ご自分あるいはご家族の方で要援護者になる可能性がある方
○政策、行政にこだわらず、八千代市の在宅福祉制度について関心をもっている方等、立場がいろいろの方々の集まりですが、皆さん、在宅福祉を自分達の事として、よりよい方法を一緒に考え、行動しようということでご一緒しております。

今の目標は
○出来るだけ早く、主婦で出来る在宅家事援助サービスと、軽度の介護サービスを始める。
○援助サービスの質を高め、八千代の在宅福祉がどのような方向に進むべきかを模索できるように、幅広い学習と研修に取り組む。
○今まで関心の薄かった人や、若い世代の人たちにもアピール出来るような生涯学習の場、自己実現の場となるように魅力ある会に発展させる。

以上、述べた会だと思いが、ボランティア関係の本の中から次のような文に出会い、当会の方針、在り方に通感をもちました。(当会は基本的には非営利のボランティア精神にもとずいた活動です。)

○ボランティア活動とは直接的な援助活動と状況変化の応答をあわせ持った活動がともに展開されるべきである。 サービス型ボランティア活動の様々な特徴が、アクション型ボランティア活動へ

○ボランティアと要援護者との間で課題に対して「共通の課題として認識」することによって「共同の会」への参加で運営されることが望ましい。

当会の構成メンバーは、望ましいグループ活動が可能だと思います。

ユーアイやちよ のあゆみ

No. 15

平成8年10月3日



私たちの活動は、何のため？

↓
新たな社会システムの構築↓
社会の財産＝活動参加者自身の財産↓
-3/4研修会で「ケアセンターやわらぎ」石川江氏の助言から-

ユーアイやちよは会員各々が「自分のため自分が担っている会」という思いで参加して頂くよう、ケア活動以外の運営事務が役割分担されました。会報も、今回から衣替えです。各紙の活動に参加可能な方は、積極的にご協力をお願いいたします。

ケア活動(地区別チーム)		援助活動 H8. 4～9月
お弁当班	研修班	・有償ケア
財政班	広報班	・23ケースに 延 966 回
		・お弁当サービス(週1回)
		18ケース 188 食
		(敬老の日のプレゼントを除く)

H4.2.15 記念すべき1号

H8.10.3 手書きのカットを表紙

「あゆみ」編集の苦労話

網干 勝



「あゆみ」の編集を第 45 号から第 64 号まで担当させていただきました。最初はそれまでのスタイルを継承し、印刷だけカラーとなりましたが、その後、椎名さんから、今のスタイルは子どもっぽいものにして欲しいと依頼を受けました。他の NP0 の会報などを参考にして、第 52 号からページの上下に青い線を入れ、少し引き締まる感じにしてみました。ただ問題は、印刷するための A3 サイズとホームページ用の A4 サイズを作ることができないことでした。A3 サイズは 2 段組みの両面印刷で、ページの作成は 4 ページが最初にする必要がありました。四苦八苦しても、これがどうしても出来ませんでした。そのためホームページの「あゆみ」は、4 ページから始まる見づらいものになっています。

それを解決したのは、私の後に担当してくださった小林さんです。A4 で作成して、印刷の設定を変えると、見事に印刷は A3 両面でできました。A4 で作成しているので、ホームページには、そのまま PDF ファイルにして掲載することができました。魔法の杖のように感じました。小林さんに感謝・感謝です。



H18.11.18 カラー化が始まる



H21.7.1 スタイル変更



H30.5.1 カラフルな「あゆみ」

「あゆみ」編集の苦労話

小林 良博

サラリーマン時代の終わりに、仲間とこれからの生活の過ごし方が話題となり、私は、「今後は傾聴に取り組みたい!」と話すと、仲間からは、「小林が傾聴、人の話を聞く…、信じられない!」と言われました。その後、東日本大震災のお手伝いに出掛け、石巻市、気仙沼市では、被災者の方々の声を直接聞く機会を得ることも出来ました。

平成 28 年になって、ユーアイやちよ主催の「傾聴養成講座」を受講し、その縁でユーアイのお手伝いなどもさせて頂きましたが、ある日椎名さんから、「あゆみ」の編集作業が持ち込まれました。まあ何とか出来るだろうと言う軽い気持ちで、編集作業を引き受けた次第です。

最初の頃は、紙面のレイアウト、記事にふさわしいイラスト探し、各記事が其々インパクトを持つように、文字形式や文字列、色付けなどを積極的に組みました。しかし年を経過するに従って、少しずつ記事の色付けが柔らかくなり、ほぼ現在の形に落ち着きました。

今後、何時まであゆみとの関りが、持てるか分かりませんが、私の信条である「出来る範囲で、出来ることを、無理をしないで…」で続けられたら良いのではと思っています。

★「やちよ介護 job フェス」に参加

10月28日（火）に、イオンモール八千代緑が丘「アゼリア広場」で、八千代市介護サービス事業者協議会主催の「やちよ介護 job フェス」が開催されました。昨年開催された「やちよ介護人材合同 おしごと説明会」に次いで、2回目の介護人材の募集イベントです。



開会式 事業者協議会小林会長挨拶



会場全体の様子(第1部)

今年度は、専門の広告会社に SNS 等での広報を依頼し、ターゲットを絞りつつ多くの方に情報が発信されました。その効果で、事業者協議会のホームページアクセス数が大幅に増え、1か月間に 3,000 件を超えるアクセスがありました。訪問した方も大幅に増えたように思います。

第1部（13:00～16:30）はとても活況で、常に半数のブースに訪問者があったように感じました。ただ、ユーアイやちよがブースを出した第2部（16:30～20:00）は、子ども連れなどの通行者は増えましたが、ブースに訪れる人は少数に感じられました。今回は、全体で 31 事業所の参加がありました。当日は、ノーリフトケアの説明・実演と癒しロボットの LOVOT（ラボット）も参加しました。



ノーリフトケアの実演



ブースでの来訪者への説明は、椎名さんと池田さんが担当しました。

今回、説明会に訪れていた方の中から、介護の仕事に就く方が少しでも多く出てきてくれることを願わずにはいません。



★八千代病院見学研修に参加して 畑地恵美

先日、八千代病院を見学し、急性期病棟と認知症病棟の両方を見て、多くの学びがありました。急性期病棟では、自傷行為のある患者さん向けの隔離病室を見学し、ドアノブのない扉や角のない設備、柔らかい床など、安全面の徹底した工夫に驚きました。

一方で、フリースペースで自由に過ごす患者さんの様子や、予約制の入浴室など、明るく開放的な雰囲気も印象的でした。認知症病棟では、見学時にちょうどレクリエーションが行われており、患者さんが集まって楽しそうに歌を歌っていました。また、トイレのイラストや部屋番号の表示など、認知症の方が安心して生活できるような工夫も随所に見られ、思いやりの気持ちが感じられました。患者さんの安全と尊厳を守るための取り組みを知ることができる機会となりました。



【BCP の研修と訓練を北東自治会館で開催】

業務継続計画（BCP）に関する研修と訓練を北東自治会館で開催しました。参加者は 22 人。（参加できなかった方は補講で実施）

まず、お茶の水ケア学院のビデオを観て、BCP の基本を押さえ、次に感染症対策の訓練としてガウンや手袋の外し方をビデオで観た後に、実際に体験してみました。

ガウンを着るときは表裏共汚染されていないので簡単ですが、脱ぐ時は汚染された場所で作業した後なので、外側はウイルスなどで汚染されています。素手で外側に絶対に触らないように注意して外します。

次に、NPO 法人タダカヨのサイトに掲載されている「自然災害 BCP 演習」のビデオを基に、①大地震が発生した場合の職員・利用者の安否確認にあたって事前にどんなルールを設定しておくか、②職員が移動中に被災した場合を想定し、どのような行動基準を設定したらよいか、③稼働可能な職員が 3 割に落ち込んだ場合に継続すべき業務や追加される業務、休止してよい業務を考える、④、③の優先業務を実施するにあたり事前にどんな準備や備蓄が必要かという 4 つのテーマを小グループに分かれて意見交換しました。



研修風景



ガウンの着脱の様子

一層の発展を目指します 語らいパートナーの会 代表 松尾忠正

ユーアイやちよのボランティア組織『語らいパートナーの会』が発足したのは 2007 年、会は 18 年目の冬を迎えようとしています。道の半ば 2019 年の冬に始まったコロナ禍で組織の存続が危ぶまれるほどまでになりましたが、椎名代表（当時）を先頭に、会員の誰もが活動の継続を目指して創意工夫を凝らしました。その甲斐があったからでしょうか、2023 年からは回復の兆しが見え始め、現在では月の活動数が 70 前後にまでなっています。



会員の努力はもちろんですが、コロナ禍がもたらした思わぬ効果もありました。社会全体に広がった逼迫が、却ってコミュニケーション機会の重要性を改めて認識する好機となり、傾聴活動のもつ価値に、これまで以上の光が当たるようになったのです。

会には様々な形の期待が寄せられ、利用希望にお応えするのも苦労するほどまでになりました。大変晴れがましいことではありますが、翻って節度への厳しい眼も注がれるということを意味します。このことに心をいたし、気持ちを引き締めて活動の展開を図ってまいりたいと思っております。

引き続き皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



【賛助会員の協力について】

6 月以降に松下やえ子 様、小田幸男 様から賛助会費をいただきました。大変ありがとうございます。引き続き、賛助会員としてのご協力、ご支援をお願いいたします。お電話を頂ければお伺いします。

なお、振込み頂ける場合は、下記口座にお願い致します。

＊ 振込先：千葉銀行新八千代支店（普通）3 2 6 6 3 5 7

＊ 口座名義人：特定非営利活動法人 ユーアイやちよ 代表 網 干 勝

たすけあい協議会コーディネーター研修会に参加して 山崎 タキヨ

ユーアイやちよは、法人として千葉県の「たすけあい協議会」に入会しています。たすけあい協議会の研修の一つに、公費のみならず自費サービス（インフォーマルサービス）を利用し、利用者を支えるためのコーディネート（ケアマネジャーのような役割）をする方たちの研修会が 9 月 20 日に開催され、私こと山崎が参加致しました。



毎年、全国社会福祉協議会中央福祉学院の主任教授の山下興一郎先生を講師としてお迎えしています。事例を提出し、その事例に沿いながらお話いただく場合が多く、今年は、たまたま私の事例が 1 番目に当たってしまいました。その為、山下先生の助言もありましたが、参加者からの質問等に答えること約 1 時間半にもなりました。ただ、質問に答えるうちに改めて自分自身の事例に向き合い、色々感じた事がありました。まず、利用者様の環境・生きてきた歴史を知る事が、その人を支えるのに大切だと言う事でした。

『今までの歴史の積み重ねで、その人の人となりができている。苦しみ・悲しみ、何を楽しいと感じるのかを知る糸口を見つることができる』と再確認できたことです。本当に私にとっては長い、長い 1 時間半でしたが、よい学びの会となりました。ケアマネとしてだけではなく、人として少しだけ成長できたかな…(ˆ▽ˆ)/



会員 リレーメッセージ

鈴木裕子さん

1. ユーアイやちよでの職務と勤務期間
2. 好きな言葉
3. 仕事に当たって心がけていること
4. 利用者さんから教えていただいたこと
5. 仕事をしていてうれしかったこと
6. 仕事以外の趣味や楽しいこと

ヘルパーとして 21 年

『素直』

利用者さんに寄り添ったケアを行う。知らぬは恥、知らない事や分からない事をそのままにして聞かないでいると人生損をするよと、素直に聞く事は大切だと教えていただいた。

こんな人になりたい、こんな生き方をしたいと思える方と出会えたこと。お話しすると心が軽くなる。

趣味はなし。今は子供や孫と過ごす時間が楽しい



微笑みの輪

【行事の報告】

- | | |
|-------|-------------------------------------|
| 7 月 | 定例会（感染症・食中毒の予防及び拡大防止の知識） |
| 7/17 | 語らい勉強会 |
| 9/18 | 語らい勉強会 |
| 9/27 | BCP（感染症・自然災害）研修・訓練、ハラスメント研修（北東自治会館） |
| 10/28 | やちよ介護 Job フェスに参加（イオンモール八千代緑が丘） |

【今後の予定】

- | | |
|------------|---------|
| 11 月 | 定例会（研修） |
| 11/20 | 語らい勉強会 |
| 令和 8 年 1 月 | 定例会（研修） |
| 1/15 | 語らい勉強会 |

